

新しく生まれる

ヨハネの福音書 3:1～10

3:1 さて、パリサイ人の中にニコデモという人がいた。ユダヤ人の指導者であった。

3:2 この人が、夜、イエスのもとに来て言った。「先生。私たちは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神がともにおられるのでなければ、あなたがなさるこのようなしるしは、だれも行なうことができません。」

3:3 イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」

3:4 ニコデモは言った。「人は、老年になっていて、どのようにして生まれることができるのですか。もう一度、母の胎にはいって生まれることができますでしょうか。」

3:5 イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国にはいることができません。」

3:6 肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。

3:7 あなたがたは新しく生まれなければならない、とわたしが言ったことを不思議に思っ
てはなりません。

3:8 風はその思いのままに吹き、あなたはそ

その音を聞くが、それがどこから来てどこへ行くかを知らない。御霊によって生まれる者もみな、そのとおりです。」

3:9 ニコデモは答えて言った。「どうして、そのようなことがありうるのでしょうか。」

3:10 イエスは答えて言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こういうことがわからないのですか。」

密かにイエスを訪ねたニコデモ



パリサイ派でユダヤ教の教師であり指導者。ローマ帝国支配下のユダヤにおける最高裁判権を持った宗教的・政治的自治組織71人からなるサンヘドリン議会の一員でもあったニコデモは夜、ひそかにイエスを訪ねた。

ニコデモはイエスを神のもとから来た教師であると認め、イエスのしるしを見て、イエスのことを「先生」と呼んでいる。自分も教師、イエスも教師、しかも神のもとから来られた教師であると認めて、教えを請いにやって来たというわけである。

ニコデモ、イエスを擁護

ヨハネ7:50～51 彼らのうちのひとりで、イエスのもとに来たことのあるニコデモが彼らに言った。「私たちの律法では、まずその人から直接聞き、その人が何をしているのか知ったうえでなければ、判決を下さないのではないか。」

イエスのことで論争になった時、祭司長、パリサイ人たちの中でただ一人、イエスを弁護する側に回っている。これは勇気あることであった。この提案によって、彼はパリサイ人から白い目で見られたことは間違いない。

アリマタヤのヨセフと埋葬

ヨハネ19:38～40 イエスの弟子ではあったがユダヤ人を恐れてそのことを隠していた**アリマタヤのヨセフ**が、イエスのからだを取りかたづけたいとピラトに願った。それで、ピラトは許可を与えた。そこで彼は来て、イエスのからだを取り降ろした。前に、夜イエスのところに来た**ニコデモ**も、没薬とアロエを混ぜ合わせたものをおよそ三十キログラムばかり持って、やって来た。そこで、彼らはイエスのからだを取り、ユダヤ人の埋葬の習慣に従って、それを香料といっしょに亜麻布で巻いた。

ユダヤ人議会の有力な議員。神の国を強く待ち望んでおり、イエスの弟子の一人になっていた。勇気を出しピラトのところへ行った。

思いもよらぬイエスのことば

イエスが行なった奇蹟のわざを見たニコデモはそのような先生にもっと教えを請いたいと願って、ニコデモはイエスのもとを訪れたと考えられる。自分よりもすぐれた教えを説くと思われたイエスのところに、ユダヤ人の指導者ニコデモが訪れたということは、ニコデモが非常に謙遜な人物であったように思う。熱心な求道心をもってイエスのもとを訪れたニコデモに思いもよらないことばがイエスから返ってきた。

水（母親の羊水）と御霊によって

ヨハネ3:3 イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」

ニコデモ：老年になってどのようにして？

もう一度母の胎に・・・ (3:4)

イエス：水と御霊によって生まれなければ、
神の国にはいることができません。 (3:5)

肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。 (3:6)

風はその思いのままに吹き、あなたはその音を聞くが、それがどこから来てどこへ行くかを知らない。御霊によって生まれる者もみな、そのとおりです。 (3:8)

どうしてそのようなことが

ニコデモ：どうしてそのようなことが・・・

イエス：あなたはイスラエルの教師でありながら、こういうことがわからないのですか。

(3:10)

パリサイ人の教えでは ユダヤ人はみな天国に行ける

パリサイ人の教えではユダヤ人はみな天国に行ける、異邦人は天国へは行けないという教えがあった。なぜ律法を守るかといえば天国での地位に差がでるということから律法を熱心に守っていた。

どうしてそのようなことが・・・というニコデモの問いにイエスは、聖書の中心的なメッセージをまとめて語られる。

それは、イエスが十字架に架かれ、復活し、天に昇られた後に本当に理解できる内容である。旧約聖書に精通しているニコデモは、これらの事を経験しながらイエスが救い主であることを確信していったことであろう。

イエスのもとを訪れたニコデモとイエスの会話が「すれ違った」ように、私たちの思いや考えもイエスとすれ違いをおこしているかもしれない。しかしイエスはそれを責めることなく、忍耐を持って、また真実と愛をもってかかわろうとして下さっている。

天から下った者イエス



ヨハネ3:13 だれも天に上った者はいません。しかし天から下った者はいます。すなわち人の子です。

3:14 モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子もまた上げられなければなりません。

3:15 それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。」

3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

3:17 神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。

民数記21:8 すべてかまれた者は、それを仰ぎ見れば、生きる。